

大仙市刈和野の西仙北中学校
(千葉雅一校長、143人)に、
300枚のパネルをつなぎ合わせ
て描いた巨大な作品「世界一の
ひまわり」が登場した。地域の

人たちに元気を届けようと、生
徒全員で色を塗り、国道13号か
ら見える学校敷地の斜面に設
置。青空の下、元気のよいヒマ
ワリが花開いた。

大仙・西仙北中

巨大ヒマワリ 今年も鮮やか

作品は全体で縦6尺、
横27尺。大小7輪のヒマ
ワリと校章、「地域とど
もに」というメッセージ
が描かれている。

パネルの設置は199
9年から続けられてお
り、生徒たちが年に1度
色を塗り直している。

今年の作業は8日に行
われた。生徒たちは6色
の塗料を使って一枚一枚
のパネル(縦6尺、横9
尺)を丁寧に色塗り。汚
れたり、雨や雪によって
くすんだりした部分を重
点的に補修し、鮮やかな

色のヒマワリをよみがえ
らせた。

設置は12日。生徒たち
は斜面に足を踏ん張って
パネルを針金で固定し、
互いに声を掛け合いなが
ら位置を微調整してい
た。生徒会長の小山田勇
翔さん(3年)は「天気
もよく、みんなで協力し
て開花させることができ
た。地域の皆さんに喜ん
でもらいたい」と話した。
同校は2012年に西
仙北東中と西仙北西中が
統合して誕生。ヒマワリ
の絵の制作は西仙北東中

パネル300枚、生徒制作

丁寧に塗り直し作業を
進めた①、パネルを斜
面に設置する生徒



斜面に設置されたヒマワリのパネル作品

時代の1999年から行
われている。総合的な学
習の一環。

(佐藤和輝)